

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

小中学生の部

奥の細道
むすびの地
大垣



令和八年三月度 入賞句一覧

投句数 千三百六十五句

星野 勝 選

特選

春の日にくるりとまわるほした服

大垣市

柳瀬 才嬉（小六）

ある春の日の昼下がりに、干してあるまつ白なシャツが春の風になびいてくるりと回っている。明るい日差しと穏やかな空気、色鮮やかに咲く春の花…。さらには作者のさわやかな気分までが共有できそうな一句です。俳句に詠まれているのは、物干しにかけてある服だけです。俳句は、作者のようそれなのに、その周りの景色までもが脳裏に浮かんでくるような句です。俳句は、作者のよう対象を絞り込んで詠むことでその景や心情を伝えることができるのです。

おばあちゃんみかんのすじをとる係

大垣市

土屋 新（小三）

「みかん」は冬の季語。こたつの上に置いてあつて、つい手にしてむいてしまう…。そんな句が多くみられます。そんな中で、作者は「みかんのすじ」に着目して、おばあちゃんを「すじをとる係」と表現しました。決してそんな係は決めてないのだけれど、いつもあたりまえのようにそうしてくれてお婆あちゃんへの感謝の気持ちも伝わってくる句です。作者ももう四年生。今度はきつと係を交替するつもりでいるのでしよう。

せつぶんでことしはにいちちゃんおにになる

大垣市

あだち あきと（小一）

節分に豆まきをするお家はたくさんあるのだけれど、去年まではおにいちちゃんも作者といつしよに鬼を退治する方だったのだけれど、でも、おにいちちゃんも大きくなつて鬼の役ができるくらいになつたのですね。仲の良い、笑顔の絶えない家族の姿が浮かんでくるような句になりました。この一年間の俳句の勉強が生かされた良い句ができましたね。

秀逸

えほうまきしずかにたべるできないよ

大垣市

國枝 千紘（小一）

ごみばこはティッシュがあふれ花ふんしょう

大垣市

たまだ るな（小二）

かさまわしくるくるくるとはるのかぜ

大垣市

安田 こずえ（小三）

花見酒顔赤くなるおじいちゃん

加茂郡川辺町

加藤 龍之介（中二）

大好きなキャプテン送る卒業式

加茂郡川辺町

田原 惇輝（中一）

ひなまつりきょうはわたしもきものきる

大垣市

ひび はるの（小二）

ひなまつりわたしもすこしましがお

大垣市

ほそい みはる（小一）

ランドセル六年間のたからばこ

大垣市

早野 結菜（小六）

ひとびととぶつかりあつたはつもうで

大垣市

まるやま ふみか（小四）

ないてるがなぜかうれしいそつぎよう日

大垣市

大橋 沙和（小四）

入選

小中学生の部

なの花はやさしい黄色弟のよう	大垣市	山中ののほ(小二)
兄妹でつくしのよりのびていく	大垣市	久保田 百佳(小四)
春の日に友のダジャレで時止まる	大垣市	高田 帆乃(小五)
余寒あり上着に深く顔うずめ	加茂郡川辺町	遠藤 優香(中一)
ひらひらと桜が舞って道しるべ	加茂郡川辺町	木下 愛琉(中三)
バレンタイン母とつくったチョコレート	大垣市	きた川 りこ(小二)
きれいだねさくらをみるというんだよ	大垣市	金森 ありさ(小二)
さくらさくかぜがなんだかあたたかい	大垣市	いちかわ りこ(小二)
ふきのとうかれ葉や土とかくれんぼ	大垣市	加代 杏奈(小六)
春の風笑顔をつれて校門へ	大垣市	安田 陽菜(小六)
後ろ二重二回できたよ息白し	大垣市	入川 紬(小四)
かまれたいししまいのはでかまれたい	大垣市	高田 咲良(小四)
バレンタインはじめてもらったチョコレート	大垣市	しみず のあ(小三)
なつてほしいつくえがこたつ学校の	大垣市	のむら りいな(小三)
さむいかぜじょうしょうきりゆうたかがとぶ	大垣市	早野 はる(小三)
なのはなできいろいみちができていた	大垣市	常富 千歳(小四)
がくねんでふえるおかねだおとしだま	大垣市	大橋 沙和(小四)
そらをとぶぼくにみえないかふんたち	大垣市	小竹 奏太朗(小四)
はつぎくらの風の音色とうたってる	大垣市	中村 朱里(小四)
かざぐるまぐるぐるまわる目もまわる	大垣市	いとう そうた(小三)

選者吟

おむすびの形のいびつ春休み

まさる

※投句時点(令和七年度)の学年で表示しています

